



THE NEW VALUE FRONTIER

2020年7月30日

2021年3月期第1四半期 決算カンファレンスコール

代表取締役社長
谷本 秀夫

京セラ株式会社

1. 2021年3月期第1四半期 決算概要

2021年3月期第1四半期 決算概要

(単位：百万円)

	2020年3月期第1四半期		2021年3月期第1四半期		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
売上高	384,937	100.0%	317,094	100.0%	-67,843	-17.6%
営業利益	22,629	5.9%	7,574	2.4%	-15,055	-66.5%
税引前利益	45,486	11.8%	30,411	9.6%	-15,075	-33.1%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	32,037	8.3%	22,380	7.1%	-9,657	-30.1%
設備投資額	25,821	6.7%	26,458	8.3%	637	2.5%
有形固定資産減価償却費	14,317	3.7%	17,065	5.4%	2,748	19.2%
研究開発費	18,866	4.9%	17,355	5.5%	-1,511	-8.0%
平均為替レート	ドル	110円	108円			
	ユーロ	123円	118円			

(ご参考) 2021年3月期第1四半期 為替変動による影響額 (前年同期比)：売上高 約 -60億円、税引前利益 約 -15億円

新型コロナウイルス感染症の影響を主因に減収減益

2021年3月期第1四半期 事業セグメント別売上高

(単位：百万円)

	2020年3月期第1四半期		2021年3月期第1四半期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
産業・自動車用部品	79,330	20.6%	80,596	25.4%	1,266	1.6%
半導体関連部品	57,973	15.1%	56,124	17.7%	-1,849	-3.2%
電子デバイス	83,203	21.6%	61,440	19.4%	-21,763	-26.2%
部品事業 計	220,506	57.3%	198,160	62.5%	-22,346	-10.1%
コミュニケーション	※ 64,781	16.8%	49,737	15.7%	-15,044	-23.2%
ドキュメントソリューション	87,130	22.6%	60,058	18.9%	-27,072	-31.1%
生活・環境	※ 16,866	4.4%	12,362	3.9%	-4,504	-26.7%
機器・システム事業 計	168,777	43.8%	122,157	38.5%	-46,620	-27.6%
その他	4,110	1.1%	3,757	1.2%	-353	-8.6%
調整及び消去	※ -8,456	-2.2%	-6,980	-2.2%	1,476	-
売上高	384,937	100.0%	317,094	100.0%	-67,843	-17.6%

※2020年4月1日に、「コミュニケーション」に含まれる当社国内子会社 京セラコミュニケーションシステム(株)が、「生活・環境」に含まれていた同 (株)京セラソーラーコーポレーションを吸収合併しました。これに伴い、上記の「2020年3月期第1四半期」の業績は、吸収合併後の事業セグメントに組み替えて表示しています。

2021年3月期第1四半期 事業セグメント別利益

(単位：百万円)

	2020年3月期第1四半期		2021年3月期第1四半期		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
産業・自動車用部品	4,798	6.0%	1,666	2.1%	-3,132	-65.3%
半導体関連部品	5,082	8.8%	5,623	10.0%	541	10.6%
電子デバイス	13,418	16.1%	2,407	3.9%	-11,011	-82.1%
部品事業 計	23,298	10.6%	9,696	4.9%	-13,602	-58.4%
コミュニケーション	※ 2,012	3.1%	1,697	3.4%	-315	-15.7%
ドキュメントソリューション	8,966	10.3%	1,809	3.0%	-7,157	-79.8%
生活・環境	※ -2,555	—	-3,834	—	-1,279	—
機器・システム事業 計	8,423	5.0%	-328	—	-8,751	—
その他	-910	—	-633	—	277	—
事業利益 計	30,811	8.0%	8,735	2.8%	-22,076	-71.6%
本社部門損益等	※ 14,675	—	21,676	—	7,001	47.7%
税引前利益	45,486	11.8%	30,411	9.6%	-15,075	-33.1%

※2020年4月1日に、「コミュニケーション」に含まれる当社国内子会社 京セラコミュニケーションシステム(株)が、「生活・環境」に含まれていた同 (株)京セラソーラーコーポレーションを吸収合併しました。これに伴い、上記の「2020年3月期第1四半期」の業績は、吸収合併後の事業セグメントに組み替えて表示しています。

2021年3月期第1四半期 業績サマリー

−

1. 新型コロナウイルス感染症による主要市場での需要減

- ✓ 自動車関連市場：自動車の生産活動停滞を受け、電子デバイスを中心に減収
- ✓ ドキュメント市場：オフィスへの出勤抑制に伴い、機器及び消耗品の需要が減少

+

2. 5G及びデータセンター関連部品の需要増

- ✓ 半導体関連部品：5G対応端末や基地局向け水晶・SAWデバイス用パッケージ、データセンター向け光通信用パッケージの需要増

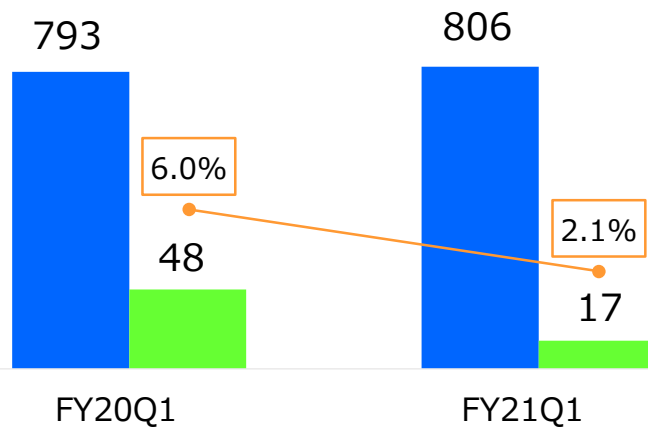
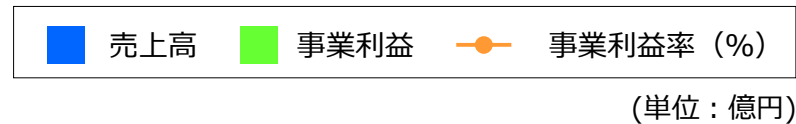
+

3. 前期のM&Aの貢献

- ✓ 産業・自動車用部品：SouthernCarlson Inc.（空圧・電動工具販売会社）
Friatec GmbH セラミック事業（セラミック部品製造・販売会社）

2021年3月期第1四半期 事業セグメント別業績（1）

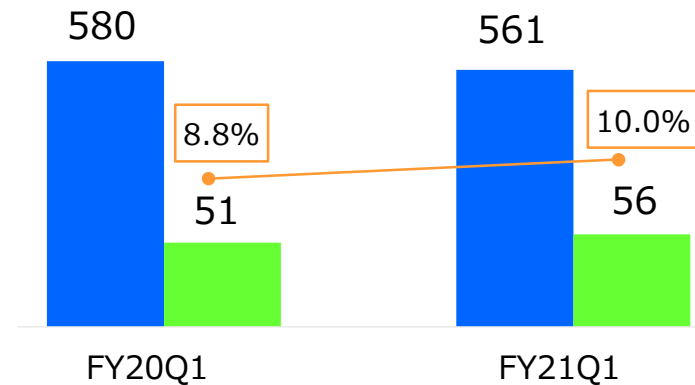
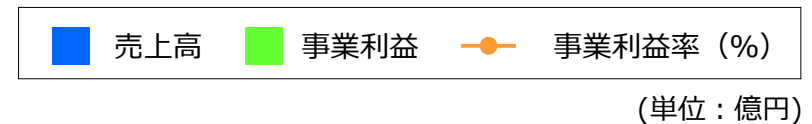
産業・自動車用部品



<増減要因>

- ⊕ 前期に実施したM&Aの貢献による機械工具の売上増
- ⊖ 車載カメラや切削工具等の自動車関連部品の売上減
- ⊖ 自動車関連部品の売上減及び減価償却費等の増加により減益

半導体関連部品

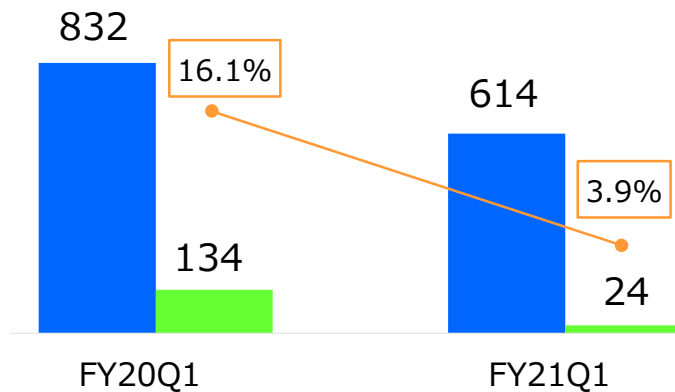
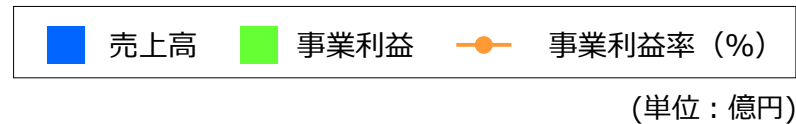


<増減要因>

- ⊕ セラミックパッケージは5G対応スマートフォンや通信インフラ向けに堅調に推移
- ⊖ 車載向け有機多層パッケージ等の売上減
- ⊕ 事業利益は原価低減により増加

2021年3月期第1四半期 事業セグメント別業績（2）

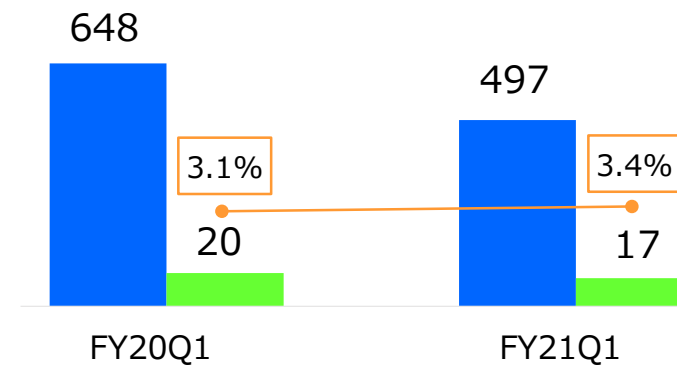
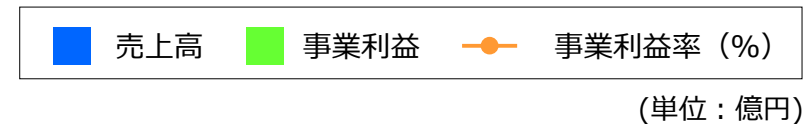
電子デバイス



<増減要因>

- 自動車関連市場の影響を受けたAVX Corporationの売上減
- 減収を主因に減益

コミュニケーション

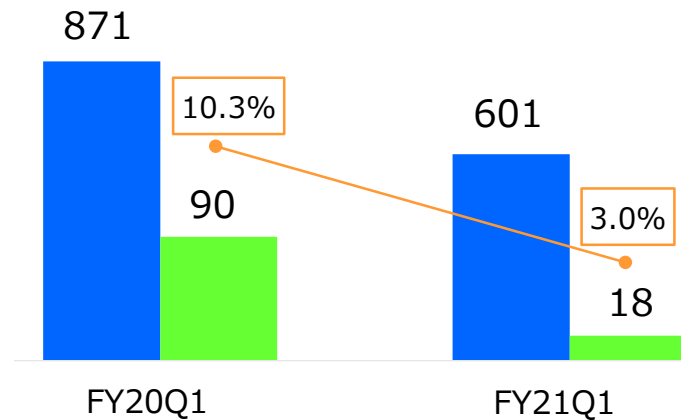
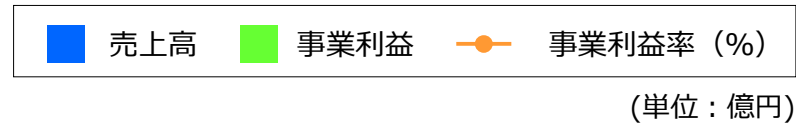


<増減要因>

- 携帯電話の販売減
- エンジニアリング事業の売上減
- + 事業利益率は原価低減により、前年同期と同水準を維持

2021年3月期第1四半期 事業セグメント別業績（3）

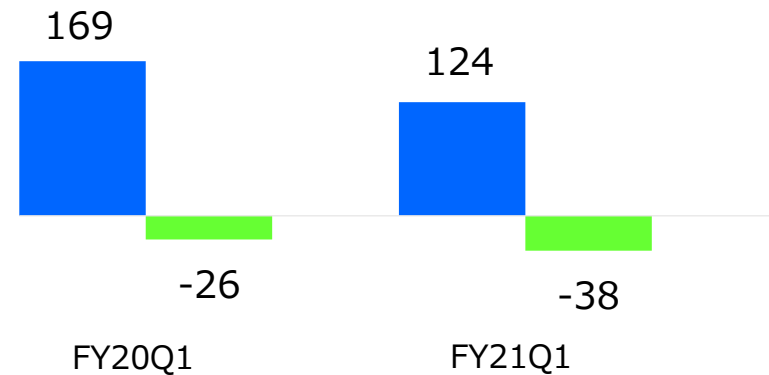
ドキュメントソリューション



<増減要因>

- ⊕ ドキュメントソリューションサービスの需要は増加
- ⊖ オフィスへの出勤抑制に伴うプリンター、MFP、消耗品の需要減

生活・環境



<増減要因>

- ⊖ スマートエナジー事業*における太陽光発電システム等の販売減

*2020年4月1日付で、ソーラーエネルギー事業の名称をスマートエナジー事業へ変更しました。

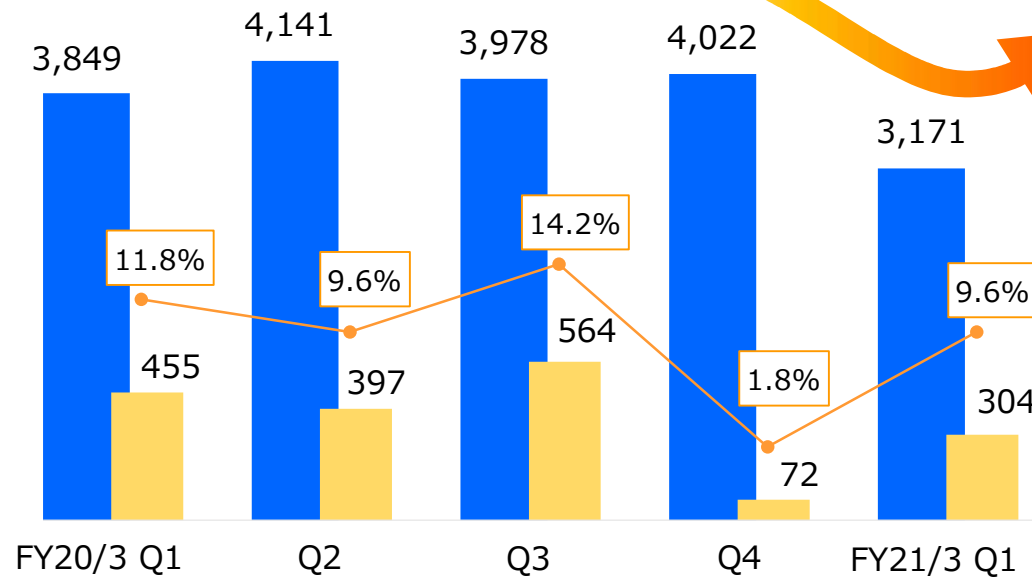
2. 2021年3月期 業績予想

2021年3月期 業績見通し

期初の想定通り、第2四半期以降の回復を見込む

<四半期別業績推移>

(単位：億円)



Q2見通し (Q1比)

- 自動車関連市場の需要は底打ち
- 5G関連製品の需要は季節要因により増加
- ドキュメントソリューションの需要回復

■ 売上高 ■ 税引前利益 ● 税引前利益率 (%)

2021年3月期 業績予想

(単位：百万円)

2021年3月期予想は 4月公表数値から変更なし	2020年3月期		2021年3月期 予想		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
売上高	1,599,053	100.0%	1,500,000	100.0%	-99,053	-6.2%
営業利益	100,193	6.3%	75,000	5.0%	-25,193	-25.1%
税引前利益	148,826	9.3%	120,000	8.0%	-28,826	-19.4%
親会社の所有者に帰属する当期利益	107,721	6.7%	88,000	5.9%	-19,721	-18.3%
基本的EPS(円)	297.36	—	242.80	—	-54.56	—
設備投資額	106,003	6.6%	100,000	6.7%	-6,003	-5.7%
減価償却費	62,413	3.9%	75,000	5.0%	12,587	20.2%
研究開発費	79,241	5.0%	80,000	5.3%	759	1.0%
平均為替レート	ドル	109円	105円			
	ユーロ	121円	115円			

(ご参考) 2021年3月期 為替変動による影響額(前期比)：売上高 約 -360億円、税引前利益 約 -115億円

注) 2021年3月期予想のEPSは、2021年3月期第1四半期の期中平均株式数を用いて算出しています。

2021年3月期 事業セグメント別売上高予想

(単位：百万円)

2021年3月期予想は 4月公表数値から変更なし	2020年3月期		2021年3月期 予想		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
産業・自動車用部品	341,093	21.3%	300,000	20.0%	-41,093	-12.0%
半導体関連部品	247,228	15.5%	239,000	15.9%	-8,228	-3.3%
電子デバイス	324,113	20.3%	328,000	21.9%	3,887	1.2%
部品事業 計	912,434	57.1%	867,000	57.8%	-45,434	-5.0%
コミュニケーション	※ 270,818	17.0%	259,000	17.3%	-11,818	-4.4%
ドキュメントソリューション	359,915	22.5%	320,000	21.3%	-39,915	-11.1%
生活・環境	※ 73,747	4.6%	67,000	4.5%	-6,747	-9.1%
機器・システム事業 計	704,480	44.1%	646,000	43.1%	-58,480	-8.3%
その他	16,737	1.0%	22,000	1.5%	5,263	31.4%
調整及び消去	※ -34,598	-2.2%	-35,000	-2.4%	-402	-
売上高	1,599,053	100.0%	1,500,000	100.0%	-99,053	-6.2%

※2020年4月1日に、「コミュニケーション」に含まれる当社国内子会社 京セラコミュニケーションシステム(株)が、「生活・環境」に含まれていた同 (株)京セラソーラーコーポレーションを吸収合併しました。これに伴い、上記の「2020年3月期」の業績は、吸収合併後の事業セグメントに組み替えて表示しています。

2021年3月期 事業セグメント別利益予想

(単位：百万円)

2021年3月期予想は 4月公表数値から変更なし	2020年3月期		2021年3月期 予想		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
産業・自動車用部品	15,813	4.6%	13,000	4.3%	-2,813	-17.8%
半導体関連部品	30,511	12.3%	30,000	12.6%	-511	-1.7%
電子デバイス	31,744	9.8%	34,000	10.4%	2,256	7.1%
部品事業 計	78,068	8.6%	77,000	8.9%	-1,068	-1.4%
コミュニケーション	※ 11,259	4.2%	9,000	3.5%	-2,259	-20.1%
ドキュメントソリューション	34,489	9.6%	30,000	9.4%	-4,489	-13.0%
生活・環境	※ -10,965	—	-14,000	—	-3,035	—
機器・システム事業 計	34,783	4.9%	25,000	3.9%	-9,783	-28.1%
その他	-4,484	—	-6,000	—	-1,516	—
事業利益 計	108,367	6.8%	96,000	6.4%	-12,367	-11.4%
本社部門損益等	※ 40,459	—	24,000	—	-16,459	-40.7%
税引前利益	148,826	9.3%	120,000	8.0%	-28,826	-19.4%

※2020年4月1日に、「コミュニケーション」に含まれる当社国内子会社 京セラコミュニケーションシステム(株)が、「生活・環境」に含まれていた同 (株)京セラソーラーコーポレーションを吸収合併しました。これに伴い、上記の「2020年3月期」の業績は、吸収合併後の事業セグメントに組み替えて表示しています。

2021年3月期第2四半期以降の取り組み：コミュニケーション

B-to-B事業の拡大

「安心、長く、快適に」をコンセプトとした京セラの法人携帯端末ソリューション

安心

法人利用を意識したセキュリティ強化

長く

長く安心して使い続けられる耐久性/信頼性

快適に

業務効率につながるソリューション提供

様々な業界へ展開

教育学習
支援業

卸売小売業

建設業

医療福祉

法人顧客の業務負担をさらに大幅軽減

7月
開始

京セラモバイルサポートサービス

- ・ モバイル端末ソリューションの導入を支援
- ・ キitting、配送、修理・保守、リサイクルまでワンストップでサポート
- ・ 国内で一貫して提供

* 高品質のWi-Fi®タブレット及び高耐久スマートフォンにて対応



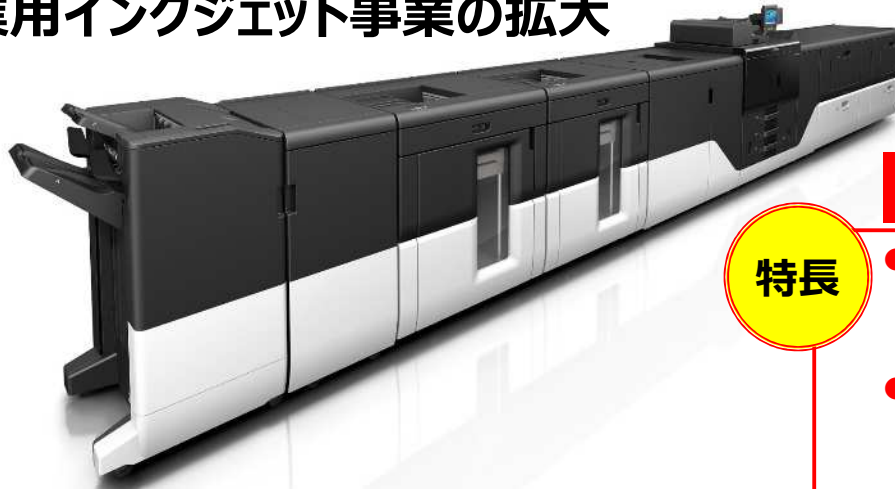
高品質のWi-Fi®タブレット
「KC-T302DT/ZU」



高耐久スマートフォン
「DURA FORCE® PRO」

2021年3月期第2四半期以降の取り組み：ドキュメントソリューション 事業領域の拡大

● 商業用インクジェット事業の拡大



TASKalfa Pro 15000c

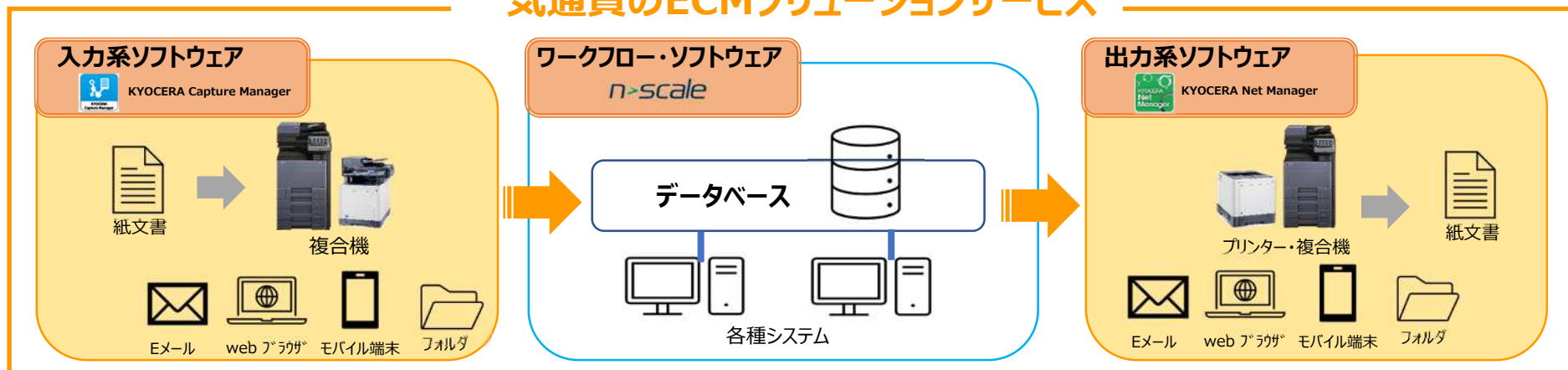
多様化するオンデマンド印刷への対応

特長

- **高い生産性**
 - ・毎分150ページの高速出力
 - ・1時間で最大9,000ページのノンストップ印刷可
- **優れた画像品質**
 - ・耐光性、耐水性に優れた独自開発のインクを使用
 - ・画像の劣化が少なく安定した画像品質

● ソリューション事業の拡大

一気通貫のECMソリューションサービス



将来の見通しに関する記述等について

この資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて、当社が予想を行い、所信を表明したものであり、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因は下記を含みますが、これらに限られるものではありません。

- (1) 日本及び世界経済の一般的な状況
- (2) 当社が事業や輸出を行う国における経済、政治、法律面の諸条件の想定外の変化
- (3) 為替レートの変動が当社の事業実績に及ぼす影響
- (4) 当社製品が直面する激しい競争による圧力
- (5) 当社の生産活動に用いられる原材料のサプライヤーの供給能力及びその価格の変動
- (6) 外部委託先や社内工程における製造の遅延又は不良の発生
- (7) 今後の取り組み又は現在進行中の研究開発が期待される成果を生まない事態
- (8) 買収した会社又は取得した資産から成果や事業機会が得られない事態
- (9) 優れた人材の確保が困難となる事態
- (10) サイバー攻撃等により当社の情報セキュリティが被害を受ける事態及びその復旧や維持に多額の費用が必要となるリスク
- (11) 当社の企業秘密及び特許を含む知的財産権の保護が不十分である事態
- (12) 当社製品の製造及び販売を続ける上で必要なライセンスにかかる費用
- (13) 既存の法規制又は新たな法規制への意図しない抵触
- (14) 環境規制の強化による環境に関わる賠償責任及び遵守義務の負担
- (15) 世界的な気候変動に関連する諸課題への対応遅れによるコスト増や企業ブランドの低下を招く事態
- (16) 疾病・感染症の発生・拡大、テロ行為、国際紛争やその他類似の事態が当社の市場及びサプライチェーンに及ぼす影響
- (17) 地震その他の自然災害によって当社の本社や主要な事業関連施設並びに当社のサプライヤーや顧客が被害を受ける事態
- (18) 売掛債権の信用リスク
- (19) 当社が保有する金融商品の価値の変動
- (20) 当社の有形固定資産、のれん並びに無形資産の減損処理
- (21) 繰延税金資産及び法人税等の不確実性
- (22) 会計基準の変更

上記のリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財政状態は、将来の見通しに明示又は黙示される将来の業績、事業活動、展開又は財政状態と大きく異なる場合があります。当社は、この資料に含まれている将来の見通しについて、その内容を更新し公表する責任を負いません。